

令和7年1月27日 宮城県多文化共生社会推進審議会

多文化共生推進に向けた主な取組について

宮城県経済商工観光部 国際政策課

第4期多文化共生社会推進計画

基本理念

『多文化共生社会の実現により豊かで活力のある宮城へ』
— 国籍、民族等の違いに関わらない県民の人権の尊重と社会参画 —

基本方針

- ◆ 『多様な主体が活躍する地域づくり』 – 意識の壁の解消 –
- ◆ 『誰もが安心して暮らし続けることができる環境づくり』 – 言葉の壁の解消・生活の壁の解消

基本的な考え方

- ◆ 多様性を織り込んだ新たな地域文化の醸成を目指すとともに、誰もが暮らしやすい環境整備を進め、活気ある地域づくりを支える

施策の方向性

1 多様性を理解・尊重する共通認識の醸成

- (1) 日本人県民に向けた理念啓発
- (2) 外国人県民に対する日本及び地域の文化・慣習・制度等への理解促進
- (3) 外国人材雇用企業や関係団体に向けた人権教育・多文化共生理念啓発
- (4) 県・市町村職員等の関係部署における多様性を尊重する共通認識醸成

2 多様性を活かした地域の活性化

- (1) 外国人県民の地域活動への参加促進
- (2) 市民団体の活動に対する支援の充実
- (3) 支援人材の発掘・育成

3 活用可能な情報収集の支援及び多言語に対応した情報の提供

- (1) やさしい日本語を用いた情報発信及びコミュニケーションの促進、関係機関への理念啓発
- (2) 各種通訳サポーター等の活用促進
- (3) 多言語による防災情報等の発信
- (4) DX推進による生活利便性の向上

4 多様な学習支援による地域社会への適応力向上

- (1) 学習者に応じた日本語学習の支援及び日本語講座の充実
- (2) 外国人の児童・生徒及びその保護者に対する支援の強化
- (3) ICTを用いた日本語教育モデルの構築

5 ライフステージに応じた生活支援の体制強化

- (1) 相談体制の強化に向けた関係機関の連携、相談技術の向上等による支援体制強化
- (2) 医療、出産、子育て等の支援に係る関係機関との連携等を通じた支援体制強化
- (3) DX推進による利便性向上【再掲】

6 就労支援の促進

- (1) 事業者に対する外国人材受け入れに係る支援の充実
- (2) 外国人材に対する県内定着に係る支援の充実

期 間

令和6年度から令和10年度までの5年間

多文化共生フォーラム in 富谷 の開催



概 要

広く県民に対し多文化共生の理念の普及・啓発を図る。

今年度は、半導体関連企業誘致になどにより、高度外国人材増加を見込む富谷市で開催。

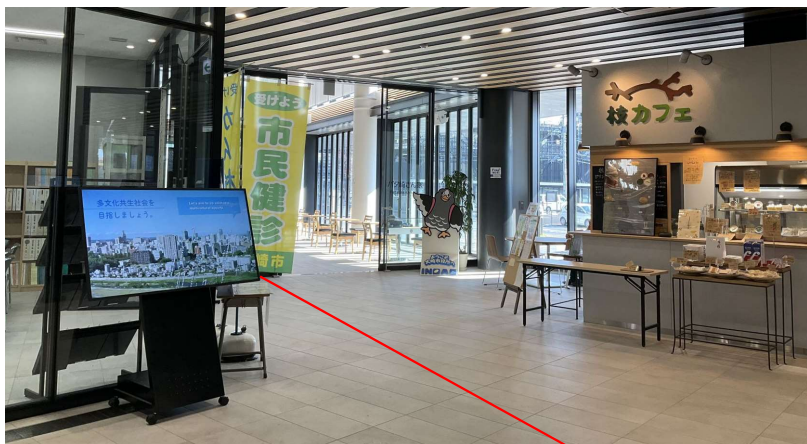
内 容

- 基調講演「多文化共生って何だろう？」
- トークセッション「みんなで考える富谷市の未来と多文化共生」
 - ・ 半導体関連企業誘致を見据え、半導体産業の先進国である台湾出身者の2名が登壇
 - ・ 仕事や宮城県での暮らしについてお話いただきました。



多文化共生理念啓発動画の作成

大崎市役所 1 階



概 要

広く県民に多文化共生の理念を普及するための啓発動画を作成し、インターネット等で公表する。

内 容

- 30秒程度の啓発動画を作成
- 各市町村窓口やウェブサイトの電子公告等で放映
- 楽天スタジアムで放映（9月ホームゲーム）
- ▶ 県民の目に付くところで放映し幅広に啓発



楽天スタジアム ライト側スタンド



やさしい日本語の普及啓発

やさしい日本語リーフレット



やさしい日本語講座の様子

概要

日本人側のコミュニケーション手段として有効となる「やさしい日本語」の普及・啓発する

内容

- やさしい日本語啓発リーフレットの作成配布（ミニストップ 115店舗や国際化協会等で配布）
- 地域住民と関わりが深い民生委員・児童委員研修会でやさしい日本語講座を実施
- 1月18日に、みやぎ県民大学で一般県民向けに「やさしい日本語」セミナーを開催

災害時通訳ボランティア整備事業など



概要

県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できる体制整備を図る。

内容

- 通訳ボランティアの確保・養成を行う（122名、20言語）
- 外国人県民が地域コミュニティの一員となることで、自助、共助による地域防災力が向上
- 9. 1 総合防災訓練（南三陸町）へ通訳ボランティアが避難者役（傷病者）及び通訳役として参加
- 「横になりたい」「水が欲しい」等を英語から日本語に通訳することで、避難所を運営する中学生等と適切にやり取りが可能に
- そのほか、外国人のための防災ハンドブックを作成・配布



地域日本語教育体制構築事業



宮城県内の地域日本語講座開設状況（2024年3月末時点）

実施市町（15）	仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、大崎市、蔵王町、川崎町、丸森町、亶理町、加美町、美里町
未実施市町村（20）	白石市、多賀城市、栗原市、東松島市、富谷市、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、山元町、七ヶ浜町、利府町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、色麻町、涌谷町、女川町、南三陸町

概要

- 地域の実情にあった形式で日本語を学べる環境を整備する
- 日本語講座を核として、外国人県民の地域コミュニティ活動への参画等を通じた住民との相互理解を促進する

内容

- 地域日本語講座にアドバイス等を行うコーディネーターの配置・派遣
- 日本語教育支援人材の育成
- 日本語講座の立上げ・安定運営に向けた支援
- 全県を対象としたオンライン日本語講座の開催 など

20の空白地域(日本語講座のない市町村)を令和10年度までに「0」に



オンライン日本語教室の開催



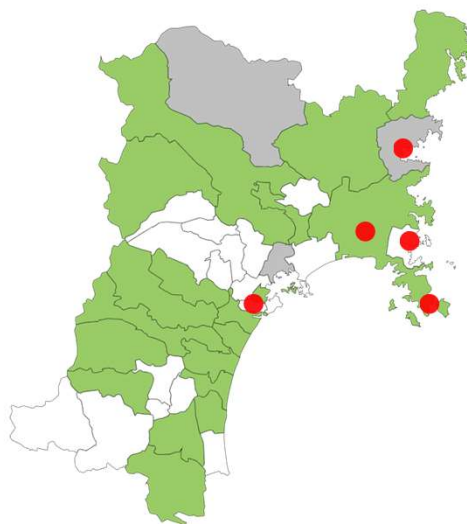
オンライン日本語講座の様子

概要

時間的・地理的制約により地域日本語講座に通うことができない学習者に対して日本語学習の機会を提供する

内容

- 対象は県内全域に居住する外国人
- 就労者が参加しやすい 金曜日 20:00～21:30に開催
- 沿岸部の技能実習生を中心に約20名が受講中



- 多賀城市、女川町、南三陸町、石巻市（鮎川）等から参加
- 移動の必要がなく、就労後の時間に開催するため、参加しやすい

多様な学習支援による地域社会への適応力向上

公立日本語学校の開設支援

概要 人口減少が進む中で、これまで以上に外国人の受入を促進し、地域活力の維持・向上に確実につなげていくことが重要となることから、その拠点となる公立日本語学校の開設を支援

公立日本語学校の基本コンセプト

- ① 地域の歴史・文化の学習や地域との交流を通じ、日本文化を深く理解したグローバル人材を育成
- ② 公立の強みを生かした地域資源の積極的な取り込み
- ③ 収益性のみならず、将来的な地域への波及効果を見据えた継続的な取り組み



- ① 大崎市が来年4月開校を目指す「おおさき日本語学校」の開設を支援
- ② 日本語教育機関認定法の施行後（R6.4.1）初の認定校となった（R6.10.30文部科学大臣により認定）
- ③ 公立校としては全国2例目、広域自治体（宮城県）と基礎自治体（大崎市）の連携による全国初のモデル
- ④ 宮城県は、留学生募集支援、開設に向けた専門家による技術的支援、イニシャルコストへの財政支援を実施
- ⑤ 学校の理念は「新しき和の創造」⇒学習と活動の場を地域全体に広げ、交流を通して風土や文化を深く理解した人材育成を目指す
⇒卒業後も見据えた長い時間軸で留学生を支える

台湾の大学でデザインを専攻。日本語学校で日本語を身につけ、日本でデザインを学びたい(台湾)

日本のアニメが大好きで独学でN1合格。まだうまく話せないで、日本で暮らしながら日本語を話せるようになりたい(インドネシア)

技能実習から特定技能に転換して働き帰国したが、もっと日本語を学んで高度人材として活躍したい(ベトナム)



- 旧西古川小学校(廃校)を活用
- 開校時定員 60人 (将来的に100人)
- 長期コース・短期コースを設定

申請72校のうち認定されたのは22校だけ

来年4月の入学予定者は34人(10月末現在)

台湾:18人
ベトナム:10人
インドネシア:6人

インドネシア労働省と宮城県における外国人材にかかる覚書締結

概要

インドネシアの優秀な人材の確保に向けて、
日本の自治体として初めて、インドネシア共和国労働省と送り出し・受け入れの推進に関する協力覚書を締結

締結日

2023年7月28日

内容

- ① ジョブフェア、会議等を通じた交流と協力活動の推進
- ② 宮城県のインドネシア人材の育成支援、
送出し・受入れ支援
- ③ インドネシア人材への日本語学習の支援



- ↓
- ① 全国的に例のない大規模な「みやぎジョブフェア in インドネシア」を開催
 - ② 新規事業 「外国人材活躍推進事業」によりインドネシア人材はじめ外国人材のキャリアアップを手厚くサポート
 - ③ インドネシア人材への日本語学習をしっかりサポート

「みやぎジョブフェア in インドネシア」の開催

概要

インドネシア人材と県内企業のマッチングを
加速するため、知事によるトップセールスを
実施

開催日

2024年9月6日～7日

内容

1日目:「人材マッチング」 県内企業×インドネシア人材
2日目:「ビジネスマッチング」 県内企業×送出し機関
※現地訓練施設や宗教施設等を巡るオプションツアーを実施
⇒外国人材を採用する上でのポイントを直接体験する機会を提供



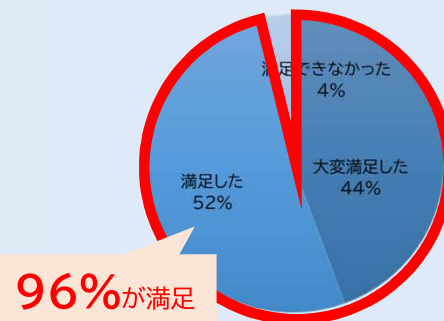
- ① 県内企業46社、現地送出し機関等32団体、インドネシア人材1,174人が参加
- ② 採用に向けフォローアップを実施
- ③ 令和7年度は、より多くの県内企業が参加できるよう、宮城県内でのイベント開催を検討中

「みやぎジョブフェア in インドネシア」の成果

1日目:人材マッチング

【参加企業の声】

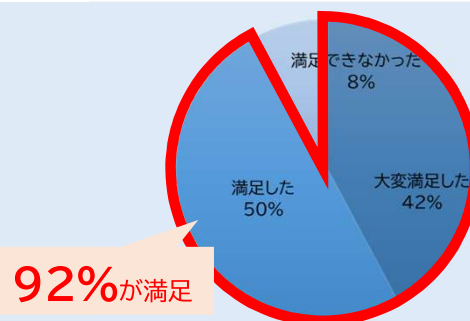
- ・インドネシアの**若者の熱意**を感じた。
- ・インドネシア人材と実際に会話することができ、
人柄の良さもわかって良かった。



2日目:ビジネスマッチング

【参加企業の声】

- ・**送出機関ごとの強み**を知ることができた。
- ・**地域ごとの特色**を把握できた。



成果 (例)

【古川電気株式会社(仙台市)】

Before

ベトナムからの技能実習生19名

（上記に加えて）

After

・インドネシア人技能実習生の採用面接のため
11月にインドネシアに渡航し、**3名の採用を決定**

【新東総業株式会社(石巻市)】

ミャンマーからの技能実習生5名

（上記に加えて）

- ・インドネシア人材の技能実習生、特定技能、技人国の採用に向け、現地の送出機関と調整中
- ・1月以降に**インドネシアに渡航予定**

カンボジア労働職業訓練省と宮城県における外国人材にかかる覚書締結

概要

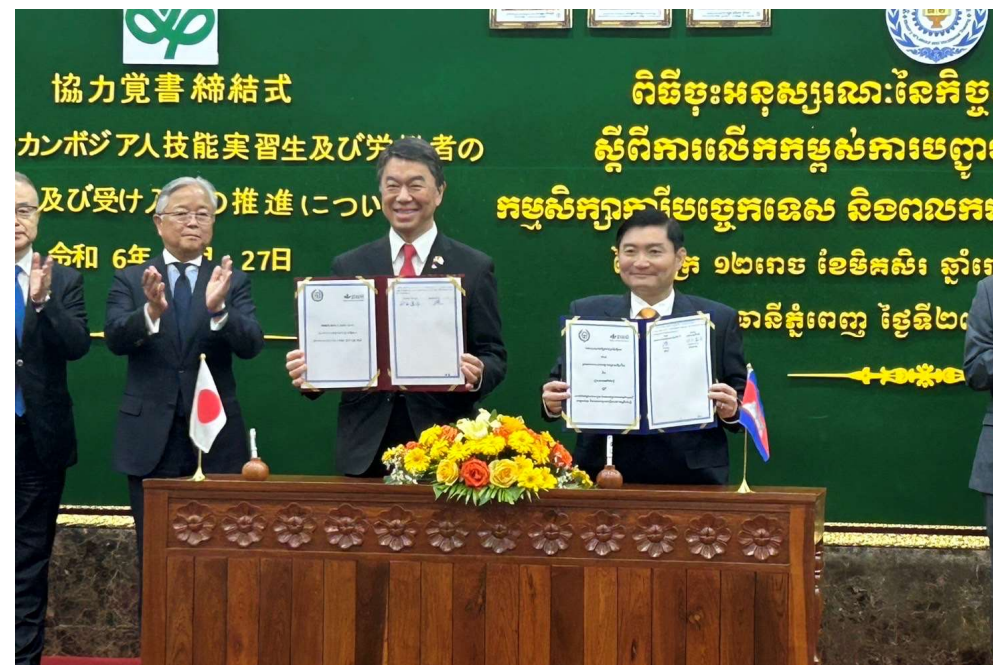
県内企業における外国人材確保に向けて、日本の自治体として初めて、カンボジア労働職業訓練省との間で、「カンボジア人材の送り出し及び受け入れの推進に関する覚書」を締結。

締結日

2024年12月27日

内容

今後は、覚書に基づきカンボジア政府と宮城県が連携して、カンボジア人材の送り出し及び受入れに関する取組を実施していく。



- ① 「カンボジア人材セミナー」や「みやぎジョブフェア」を開催
- ② みやぎ外国人相談センターに新たに「クメール語相談員」を配置し、よりカンボジア人材の宮城での生活をサポート
- ③ カンボジアと宮城県の文化交流イベントを開催

「攻め」の多文化共生の取組 ～外国人材と県内企業のマッチング～

外国人材マッチング支援事業

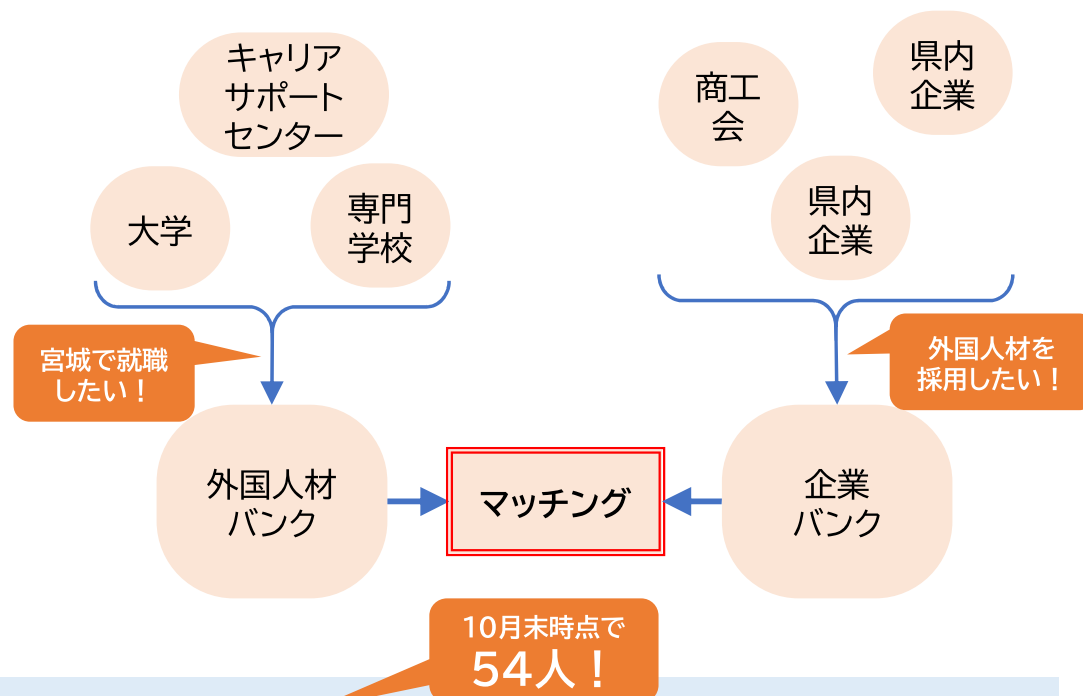
概要

国内外の外国人材と県内企業の交流機会を創出するとともに、外国人材の県内企業への就職を支援することで、県内企業の外国人材活用を促進

内容

- ・ 企業向け相談窓口の設置・運営
- ・ 外国人材採用セミナーの実施 手続き 費用
- ・ 企業訪問ツアー、交流会 外国人材との交流
- ・ 合同企業説明会

県内企業と外国人材をマッチング



- ・ マッチング件数が着実に増加 2022年 **25人** ⇒ 2023年 **50人** ⇒ 2024年 **100人???**
- ・ 在留資格：「**特定技能**」**47人**、「**技術・人文知識・国際業務**」**3人**（2023年）
- ・ 国 籍：**インドネシア19人**、**ベトナム18人**、ミャンマー6人、タイ2人、ネパール2人、バングラデシュ1人、シリア1人、インド1人（2023年）
- ・ 業 種：**建設12人**、**飲食料品製造11人**、**造船・船用工業9人**、**介護8人**、漁業4人、外食3人、宿泊2人、IT1人（2023年）
- ・ 採用事例：大和町の建設事業者でインドネシア人男性が複数活躍！ 松島町の旅館でバングラデシュ人が通訳・接客で活躍！

「攻め」の多文化共生の取組 ～ダイレクトマッチングの新たなチャレンジ～

新規

事例 台湾人材対象宮城マッチングツアー

概要

県内就職を希望する **台湾の高度人材20人** を宮城に **3泊4日で招待** し、 **県内企業とのマッチングを集中的に行う** マッチングツアーを敢行

内容

- ・台湾人材と県内企業との **交流会** の実施
- ・県内4コースに分かれての **企業訪問ツアー**
- ・じっくり企業と話せる **合同企業説明会**
- ・秋保地域で宮城の食や紅葉を堪能

県内企業と外国人材をマッチング



参加した人材の声

- ・それぞれの会社の理念や取組み、社員の皆さんの考え方などを聞いて、 **自分が働く具体的なイメージをつかむことができました。**
- ・宮城での生活の魅力や働くメリットを詳しく説明してくださる企業も多く、 **地域社会とのつながりを大切にする姿勢が印象的** でした。

参加した企業の声

- ・参加者の日本語能力が想像以上に高く、安心して仕事を任せられそうだと思います。 **ぜひ入社してほしい人材が見つかりました。**